

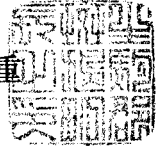


斑 都 整 第 267 号

平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

奈良県斑鳩町長 小城 利重



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり意見として回答いたしますので、新たな中期計画策定の参考としていただきますようよろしくお願いいたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

奈良県斑鳩町

本町には豊かな自然環境と法隆寺等の社寺を代表とする歴史的施設や歴史的風土が町内各所に見られ、豊かな自然と歴史が織り成す風景景観は他の地域にない「斑鳩」独自のものであり、多くの人々に「斑鳩の里」として親しまれています。

本町としてはこれらの観光資源を活用したまちづくりが不可欠であります。本町を通過する国道25号の交通渋滞などにより地域間の相互の連携が未成熟なため、観光客の誘致など観光振興上の障害となっています。

また、昨今、大規模地震発生の切迫性が指摘されていることや、今後さらに進展すると予想される高齢化等の変化に伴い、災害時の要援護者の増加などに対応するため、避難路等防災空間の確保、災害時の緊急輸送路の確保という防災面においても対応していく必要に迫られています。

このように、当町のような地方では道路を中心とした都市基盤の整備がまだまだ遅れており、「安全・安心・快適で魅力あるまちづくり」の進展に大きな影響を及ぼすものとなっています。

以上のようなことをご賢察いただき、地域の実情に応じた真に必要な道路など直轄による道路整備を積極的に進めていただくとともに、当町で取り組んでいる国庫補助による道路事業をはじめとする基盤整備事業など必要な財源の確保に努めていただきますよう要望させていただきます。

②－１ 地域の現状と抱える課題

奈良県斑鳩町

○ 現状

- ・ 当町は昭和３０年代後半から急激な都市化が進み、ミニ開発による新しい市街地が形成されてきたため、今後スプロール化が進むものと予想され、道路や公園などの生活基盤の整備が課題となってくる。
- ・ 町内を通過する幹線道路である国道２５号は、約 19,000～27,000 台／日の交通量で渋滞が著しく、渋滞を避けた交通が地域の生活道路へ侵入している。
- ・ 町外からのアクセスの主要幹線道路である、国道２５号や県道の渋滞のため、観光客の移動にかかる定時性が欠如しており観光振興上も問題となっている。
- ・ 幹線道路の整備が遅れていることから、それと接続する町内生活道路の整備の進展にも影響を及ぼしている。

○ 課題

- ・ 本町を通過する広域的な主要幹線道路である国道２５号は交通渋滞が著しく抜本的に交通体系の整備が必要である。（いかるがパークウェイの整備促進）
- ・ 渋滞を避けた交通が生活道路への進入し生活道路の交通安全にも問題がある。
- ・ 国道２５号は歩道の整備率も低く、日常生活における歩行者等の移動の安全確保に問題がある。
- ・ 本町は世界文化遺産がある町として観光振興にも取り組んでいるが、町外からのアクセスのメイン道路である国道２５号の渋滞解消が必要である。
- ・ 幹線道路の整備が遅れているため、災害時の物資輸送など災害対策活動など防災面での課題がある。

②－２地域の目指すべき将来像

奈良県斑鳩町

将来像（第３次斑鳩町総合計画）

- ・ 一人ひとりが創り出すまち 歴史と文化が暮らしの中に息づく”新斑鳩の里”をテーマに住民生活の快適性を向上し、さらに世界文化遺産のある町として歴史的風土を生かした斑鳩らしさを住民とともに創出し、愛すべきふるさと”新斑鳩の里”を未来に引き継ぐ。
- ・ 基本施策のひとつとして、「潤いのある魅力的なまちづくり」として都市基盤の整備を図ることまた、「にぎわいのあるまちづくり」として観光や産業の振興を図ることとしている。

③ 道路施策の重点事項

奈良県斑鳩町

○ 重点事項 ・ 交通体系の整備	○ 代表事例 ・ いかるがパークウェイ（国道） ・ 国道２５号の交通安全対策 ・ 都市計画道路法隆寺線（国庫補助事業）	○ 期待する効果や評価等 ・ 「いかるがパークウェイ」が整備され、さらには「現国道２５号」の部分改良や歩道設置などをすすめることにより、町事業として国庫補助を受け取組んでいる都市計画道路とともにネットワークが構築され、交通渋滞の解消を図ることができる。このことにより地域交通の安全性が向上し、交通分散による現国道２５号沿道の環境の改善も期待できる。 ・ 今後進展する高齢化や障害者の移動の円滑化にも効果が期待できる。 ・ 広域的な道路ネットワークを確立することにより物流の流れがスムーズになり地域産業の活性化も期待できる ・ 世界文化遺産のある町として観光ルートのネットワーク化を図ることができ観光振興による経済的な効果を期待できる。 ・ 近年、大規模な地震発生などが想定され、災害時の緊急輸送路、防災空間として避難路や防火帯となるなど防災面での役割を期待できる。	○ その他
---	--	---	--------------

○ 重点事項 ・ 市街地・住環境の整備	○ 代表事例 ・ 法隆寺駅前広場および周辺道路の整備 (まちづくり交付金、国庫補助事業等) ・ 土地区画整理事業の推進	○ 期待する効果や評価等 ・ 世界文化遺産である法隆寺への玄関口として平成１８年度には駅舎自由通路及び駅橋上化事業が完成し平成１９年度には駅前広場の整備を行なっている。 ・ 現在、駅周辺道路の整備促進および土地区画整理事業の推進に取り組んでいる。 ・ これらの事業進展を図ることにより、魅力的な都市拠点として快適な住環境が確保できる。 ・ 法隆寺をはじめとする本町の観光や公共交通の拠点として鉄道利用者の利便性を高め、観光振興にも大きな役割を期待できる。	
--	---	---	--